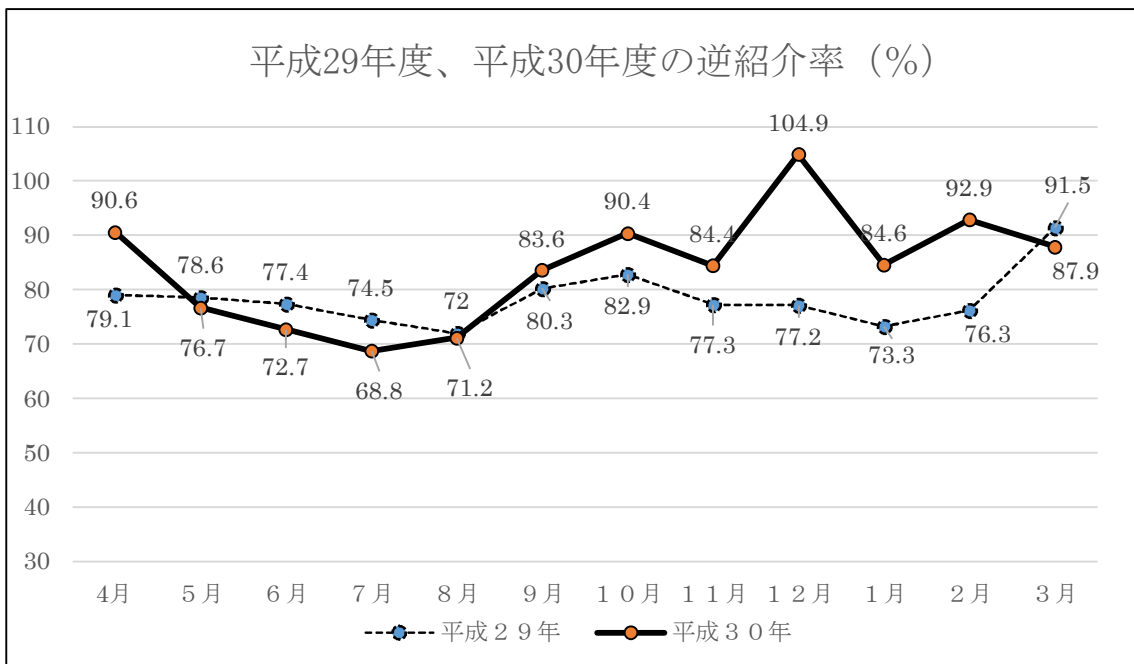
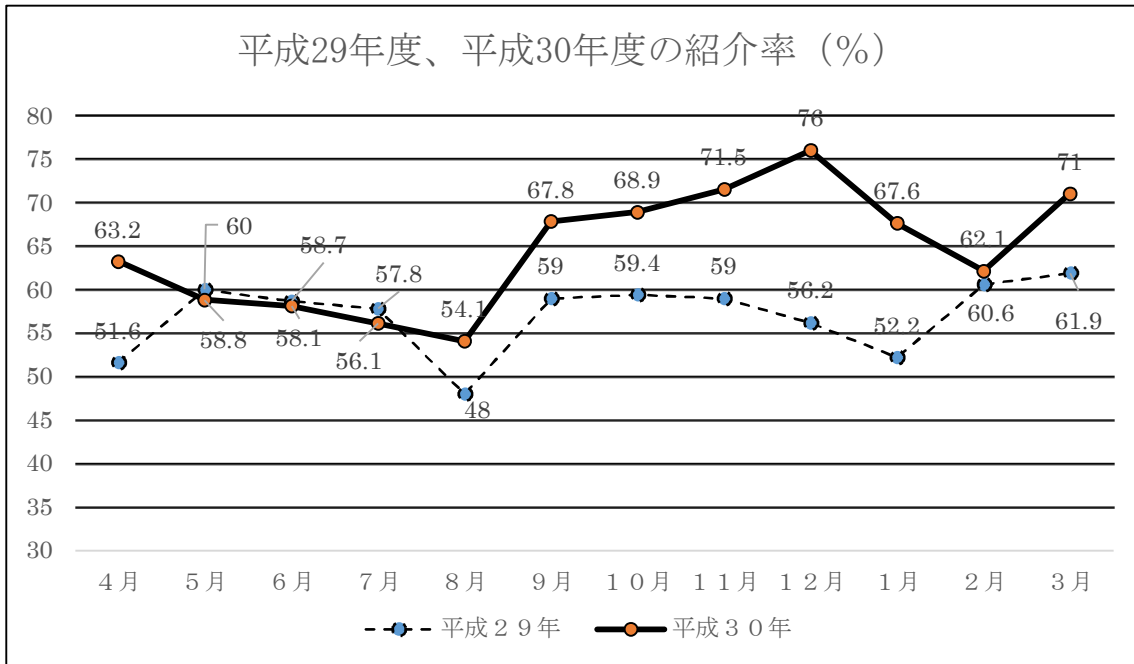


18. 地域医療連携室

【地域連携業務】

平成 30 年度は、地域支援病院と認定された年であり、機能評価受講という大きな節目の年にもなりました。益々、地域中核病院として重要な役割を持つと認識し取り組みました。特に地域からの窓口である地域連携室では、紹介をスムーズに受けられるよう業務を見直しました。その一つに、地域の先生方にアンケートを実施し、利用しやすくなるようご意見をいただきました。また、出前講座や FM ひこねラジオの出演を行い地域市民へかかりつけ医を持つ事を推進いたしました。



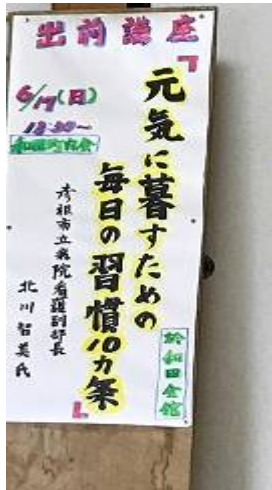
共同診療の推進として、高度医療機器の稼働を土曜日も行い、予約取得困難時には検査部門と調整した予約枠の見直し、地域の先生が予約しやすいように取り組みました。

【高度医療機器の稼働状況(件数)】

	CT	MRI	土曜 MRI	RI	US	マンモ	胃 カメラ	骨塩 定量	神経 伝達
平成 29 年	682	721	124	62	23	5	224	127	6
平成 30 年	765	740	112	73	34	5	284	74	8

【かかりつけ医の勧め】

医療の正循環を行うため、市民への啓発として地域への出前講座「かかりつけ医を持ちましょう 市立病院のかかり方」を行いFM ラジオ出演でも啓発活動を行いました。



「市民向け出前講座」



「FM ひこね出演」

【地域の先生方に向けた広報誌】

安心してご紹介いただけるよう、毎月「地域連携だより」を発行しています。専門性の高い医師のご紹介や、新規導入した検査機器の紹介を行いご活用の案内をしました。また、掲示用にポスターを配布しご活用のツールを増やしました。

発行日 2019年 1月 No.29

彦根市立病院
地域連携
だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八町町1880番地
TEL: 0749-22-0000 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL: 0749-22-0053 FAX: 0749-22-0053

あけましておめでとうございます
痛みをとるだけではなく、生活の質 (QOL) を取り戻す
人工関節センター

整形外科 部長
人工関節センター長
すみだ ひさし
角田 恒

現在、日本は世界でも有数の長寿国となっており、寿命が長くなればなるほど二足歩行をするための下肢関節が衰えるのは恐ろしいことかも知れませんが、しかしながら「年を取ったからあきらめる」のではなく、いつまでも日常生活動作を自分の力、自分の脚で行うことを目指し治療していくのが我々整形外科医の努めでもあります。
当院では2014年6月より岐阜大学整形外科・教授を顧問に迎え、人工関節センターを開設いたしました。秋山教授による股関節、肩関節による膝関節手術の導入、加齢に伴う変形性関節症やその治療による関節痛に対して人工関節置換術をはじめ、より専門的な治療を行っております。

メディア社会の今、軟骨が再生し変形した関節が戻るような話を聞く機会が多くなってきました。また、その中で人工関節があたかも「数年しかつかないような治療である」と伝えられたりされています。人工関節はあくまで最終的な治療法であることは確かですが、我々は捨てないで最後まで試してみようという姿勢を大切にしています。試すことができない場合は、試すことができないことにはなりません。人工関節センターにより生活動作・歩行に支障をきたしている患者さんがおみえになれば是非ともご紹介いただき、少しでも患者さん、そのご家族のお役にたければと考えております。

彦根市立病院 地域医療連携室
印刷発行 月一回発行 年約5冊(10冊) 印刷日(平日)午後5時15分 土曜日 午前9時～午後12時20分

ひざが変われば、人生が変わる!

地域密着!
地元で治す

年齢と共に
気になっていませんか?

- 旅行に行くのが楽しみだけど、痛くなると不安
- 椅子から立ち上がるのが億劫
- 重い物に行くのが億劫
- 階段の昇り降りが辛い
- お寺参り座敷の畳に座りたくない

変形性膝・股関節症の可能性が有ります

彦根市立病院では、人工関節センターで、診察・治療を行っております。手術では、長期保証が大切で、手術後はフォローさせていただきます。詳しくは、かかりつけ医へご相談ください。

彦根市立病院 人工関節センター

【病床管理】

病床管理は医学的知識を持った看護師が配属し、院内外の迅速な対応を行うよう努めました。断らない医療、地域の安心のために病床を有効活用できるよう調整を行うことができました。

